



2020年7月

↑HPIはこちらから



編集長 金子の巻頭ご挨拶

みなさんこんにちは！最近、家に帰るとすぐ扇風機へ飛びつく編集長です。7月に入り、湿度が高いのに加え、気温もますます高くなってきましたね！5月からベランダの隅で育てているミントの成長が、雑草のように勢いを増しております。この時期は、スズメやハト、ムクドリなどの身近にいる野鳥たちが子育てを終え、巣立ったばかりの若鳥が懸命に飛んだり、親とごはんを探す姿を見かけます。まだ全体的に羽の色が薄く、ぼさとした立ち姿が可愛らしいものです。危なっかしい若鳥ですが、もしうずくまって弱っていても、手を出さずに遠くから見守りましょう！



大仙社員「ゆかりの地」を知る

今月より隔月でお届けする新コーナー！このコーナーでは、大仙社員のゆかりの地についてご紹介させていただきます。記念すべき第1回は、中部支社・FJさんのゆかりの地でもあり、大仙の本社がある愛知県豊橋市です。

FJさんは豊橋に生まれ、高校生までこの地で過ごしました。そこから10年ほどは豊橋を離れ、その後仕事の転勤により豊橋に戻り、現在に至ります。

＼教えて！！豊橋のこと／

大学の頃、豊橋を離れていたときに感じたのは、豊橋は海がとてもきれいだということ。映画のロケ地で使われているところもあり、私的には他の場所の海よりも魅力的に感じます。今でも、仕事で海近辺にある温室の現場に行った際には、時おり気分転換に海岸へ降りることもあります。豊橋の海はおすすめです。

思い出の場所は色々ありますが、特に印象深いのは、昔駅前にあった百貨店の屋上遊園地と映画館です。その当時から高所恐怖症だった私は、屋上遊園地の観覧車に乗り、とても怖い思いをしました。また、映画館に向かうエレベーターにはいつもホラー映画のポスターが貼ってあり、小さい頃はゴジラやガメラなどの映画を見に行くたびに、そこでも怖い思いをしました。その後百貨店はなくなってしまい、現在では洒落た場所になっていますが、大人になってからも豊橋の駅前に飲みに行ったときには、その頃の怖かった思い出をちょっぴり思い出します。



Mさんの作物を使ったお料理図鑑

【🍅バリ島で食べたトマト🍅 inナシゴレン】

初めまして。蕎麦屋の女将である祖母に食の英才教育を受けてきた、Mと申します。本号から、私が今まで食べたなかで美味しかった料理をご紹介します。

今回の料理は、トマトを使ったナシゴレンです。ナシゴレンのnasilは「飯」、gorengは「揚げる」を意味するインドネシア語ですが、揚げるのではなく炒めて作る「チャーハン」に類似した料理です。一般的に、目玉焼きやスライスしたトマト等の生野菜が添えられます。

私は、バリ島に到着して最初にナシゴレンを食べ、あまりの美味しさに連日ナシゴレンめぐりをしました。ライスは、ラーメン屋さんの旨味がきいたチャーハンの様です。現地の糖度が低いフレッシュなトマトが、より味わいを引き立てていました。

皆さんもバリ島へ行った際は、名物のビンタンビールと一緒に食べてみてください！





大仙の主力製品のひとつであるガラス温室・硬質フィルムハウスの特徴は大きな三角形の屋根です。この屋根を支えている主力の部材は「合掌」と呼ばれる鋼材です。世界遺産で有名な白川郷と五箇山地方に特色的に見られる切妻造り・茅葺きの民家は、「合掌造り」と呼ばれています。合掌造りは屋根が急勾配になっていることから、豪雪による雪下ろしの作業軽減や水はけを考慮した造りだと考えられています。大仙の温室はそこまで急勾配ではなく、5/10(俗にいう5寸勾配)が標準となります。「合掌」は、神仏を拝むときに左右の掌を合わせることを意味し、その形態の類似から建築の分野では、古くから2つの部材を山形に組み合わせることを指しています。



かわむーの千葉研究農場トマト便り

7月に入り一段と気温が高くなってきました。千葉農場では、日昼の気温が光合成最適気温を上回る日も増えてきています。ハウス内の気温を下げる方法として、換気と遮光、冷房等があります。その中でも今回は、冷房にも使われる細霧装置についてご紹介したいと思います。

細霧装置は、ハウス内上部にノズルを取り付け、水を噴霧する装置です。水が蒸発する時に気化熱を奪うことを利用して、冷却を行います。細霧装置は、噴霧を行うと相対湿度が上がるので、効果的な冷却を行うためには換気が必須になります。ハウス内の環境条件と外気の気温、相対湿度によっても変化しますが、細霧装置による過去の実験では、ハウス内の気温を外気よりも2~3℃ほど下げることができました。千葉農場で利用している細霧装置と換気設備については、次回ご紹介したいと思います。



噴霧の様子

さて、トマトの様子はというと定植から1週間経過した区画では、日照時間が短かったうえ夜温が高くなってしまったので、徒長気味となっています。強風日が何日かあり、換気窓を閉めざるをえなかった部分はありますが、給液管理等で工夫が出来たのではないかと反省しています。この経験をいかせるようにしっかりと記録を残していきます。



定植から約1週間の株

メールマガジン登録者限定 無料オンラインセミナー開催!【限定100名様】

メールマガジン登録者限定で、無料オンラインセミナーの開催が決定しました!

開催日:8月20日(木)18:00~19:00 申込期間:7月20日~8月18日

テーマは「第1回 Thinking Farm」~最先端植物生理モデルを用いて、農作物の生産効率の最適化を可能に!!~(株)ダブルエム 狩野敦先生による、環境モニタリングシステム「Thinking Farm」のご紹介です。



Thinking Farmとは?

環境モニタリングシステム「Thinking Farm」は、温室環境の温湿度、CO₂濃度、室外の日射量等を自動計測し、それらのデータから温室内の栽培植物の光合成最適温度、蒸散速度等を計算します。それを活用、判断し、収量増加や品質向上、環境制御にかける時間の短縮等を目指すことが可能になります。従来人間が判断していた環境制御目標を判断し設定していましたが、Thinking Farmが最適な目標値を提示してくれるので、光合成を最大化する環境制御が行いやすくなります。

お申し込み方法

オンラインセミナー参加ご希望の方は、下記のメールアドレスに「オンラインセミナー希望」とご記入のうえ、お送りください。お申込みフォームをお送りいたしますので、ご入力のお返し返信ください。

受講方法

セミナー当日、編集長より受講者用URLをお申し込みいただいたメールアドレスにお送りいたします。「受講者用URL」をクリックし、参加することができます。



※メールマガジン未登録のかたは、お申し込みフォームにご入力いただいたメールアドレスから登録をさせていただきます。

※本セミナーは競合となるサービスの事業者様のご参加をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

※登録人数が定員に達した時点で申込を締め切らせていただきます。

※Zoomを使用したオンラインのセミナーですので、ZoomアプリのインストールまたはWebブラウザをご利用の上、アクセスをお願いいたします。PC、タブレット、スマートフォン等からご参加いただけます。当日までにセミナーに参加できる環境をご準備ください。デバイスの状態を確認し、音が聞こえるように設定してください。

※その他、詳細についてはメールにてお送りします。

※本セミナーのテーマ等は事前予告なく変更の可能性があることをご了承ください。

ランナーvol.33 2020年7月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 営業事業部

〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8

[TEL]0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp

このアドレスから!



※メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。